

鳥取銀行における産学官金連携の取組み

○松尾 陽輔（鳥取銀行ふるさと振興部地域ビジネス推進室）

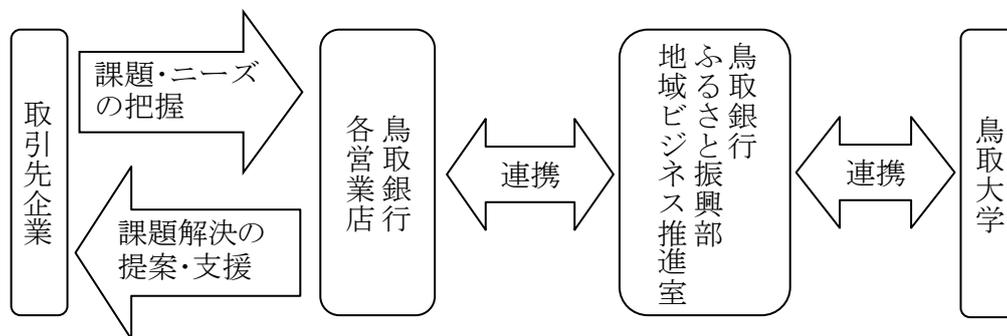
1. はじめに

鳥取銀行ふるさと振興部地域ビジネス推進室は地域金融機関のソリューション部署として、多様化した取引先企業のニーズに応えるべく、今まで以上に踏み込んだ専門的な提案・支援を行うことを目的として活動している。その中で産学官金連携についても当行の重点的課題として認識し、各種取組を行っている。

平成16年11月に、産学官金連携を一層強化し地域産業発展に資する目的で、鳥取大学と「連携協力に関する協定書」を締結し、以降、相互に職員1名を派遣している。

2. 産学官金連携の支援体制

当行の支援体制として、本部の「ふるさと振興部 地域ビジネス推進室」が産学官金連携の窓口となり、各営業店を通して取引先企業の課題・ニーズを収集し、連携協定を結ぶ鳥取大学に情報連携している。



3. 産学官金連携に関わる主な事業等

(1) 「鳥取大学・鳥取銀行連携セミナー」の開催

企業と大学とのマッチングを促進し、新たなビジネスの創出支援を目的としたセミナーを鳥取大学と連携して開催している。

(2) 「鳥取大学技術シーズ紹介」の発行

新技術の開発や企業の抱える経営課題の解決を支援する活動として、鳥取大学の研究者の技術シーズを当行のホームページ上で紹介する取組を行っている。

(3) 鳥取大学が開催する「鳥取大学産学・地域連携推進室連絡会」への参加

鳥取大学が開催する、県内高等教育機関、自治体、公的機関、金融機関等が集まる連絡会に参加。各機関の最新の取組等について情報交換を行っている。

(4) 伯州綿利活用研究会への参画

鳥取大学、米子高等専門学校、境港市、境港商工会議所、鳥取県産業技術センター、有限会社柏木商会、当行により同研究会を発足。鳥取県境港市で栽培された「伯州綿」を活用した商品開発を実施。平成28年9月に第1弾として、鳥取大学医学部の知見を生かした要介護者向けの寝衣の販売を開始した。

4. まとめ

当行では、地方創生に係る取組みを積極的に行っているところである。地方創生の推進には、これまで当行が行ってきたような地域内の様々な機関の連携が一つの鍵と考える。引き続き、鳥取大学をはじめとする様々な機関との連携を深めることにより、取引先企業の支援、ひいては地域の活性化につなげていきたい。